

で す	be 動詞とは、am, is, are のことです。 be 動詞は「です」や「います」という意味です。 I には am、単数には is、複数や you には are がつきます。 be 動詞の後に not をつけると否定文になります。 be 動詞を文頭に置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+be 動詞. / No, 主語+be 動詞+not.	① 彼はカナダに <u>います</u> 。 → (He) (is) in Canada.	→ (He) (is) in Canada.
		② 彼はカナダに <u>いません</u> 。 → (He) (isn't) in Canada.	→ (He) (isn't) in Canada.
		③ 彼はカナダに <u>いますか</u> ？ → (Is) (he) in Canada?	→ (Is) (he) in Canada?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼は <u>います</u> 。 → Yes, (he) (is).	→ Yes, (he) (is).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼は <u>いません</u> 。 → No, (he) (isn't).	→ No, (he) (isn't).
		⑥ どこに彼は <u>いますか</u> ？ → (Where) (is) (he)?	→ (Where) (is) (he)?
し ま す	英語は <u>誰が</u> <u>どうする</u> <u>何を</u> という順番になります。 どのように/どこで/いつ などは文の最後に置かれます。 <u>どうする</u> という意味になる語を一般動詞といいます。 一般動詞の前に don't をつけると否定文になります。 文頭に Do を置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+do. / No, 主語+don't.	① 彼らは英語を <u>勉強します</u> 。 → (They) (study) English.	→ (They) (study) English.
		② 彼らは英語を <u>勉強しません</u> 。 → (They) (don't) (study) English.	→ (They) (don't) (study) English.
		③ 彼らは英語を <u>勉強しますか</u> ？ → (Do) (they) (study) English?	→ (Do) (they) (study) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼らは <u>します</u> 。 → Yes, (they) (do).	→ Yes, (they) (do).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼らは <u>しません</u> 。 → No, (they) (don't).	→ No, (they) (don't).
		⑥ どこで彼らは英語を <u>勉強しますか</u> ？ → (Where) (do) (they) (study) English?	→ (Where) (do) (they) (study) English?
し ま す	自分を1人称、相手を2人称、その他を3人称といいます。 主語が3人称で単数の場合、一般動詞に s がつきます。 have は特別に has という形になります。 一般動詞の前に doesn't をつけると否定文になります。 文頭に Does を置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+does. / No, 主語+doesn't.	① 彼女は英語を <u>勉強します</u> 。 → (She) (studies) English.	→ (She) (studies) English.
		② 彼女は英語を <u>勉強しません</u> 。 → (She) (doesn't) (study) English.	→ (She) (doesn't) (study) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強しますか</u> ？ → (Does) (she) (study) English?	→ (Does) (she) (study) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女は <u>します</u> 。 → Yes, (she) (does).	→ Yes, (she) (does).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女は <u>しません</u> 。 → No, (she) (doesn't).	→ No, (she) (doesn't).
		⑥ どこで彼女は英語を <u>勉強しますか</u> ？ → (Where) (does) (she) (study) English?	→ (Where) (does) (she) (study) English?
し て い ま す	be 動詞+一般動詞の ing 形で「~している」という意味です。 e で終わる一般動詞は、e を省いて ing をつけます。 run や swim は、最後の文字を重ねて ing をつけます。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。	① 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。 → (She) (is) (studying) English.	→ (She) (is) (studying) English.
		② 彼女は英語を <u>勉強していません</u> 。 → (She) (isn't) (studying) English.	→ (She) (isn't) (studying) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ？ → (Is) (she) (studying) English?	→ (Is) (she) (studying) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女は <u>しています</u> 。 → Yes, (she) (is).	→ Yes, (she) (is).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女は <u>していません</u> 。 → No, (she) (isn't).	→ No, (she) (isn't).
		⑥ どこで彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ？ → (Where) (is) (she) (studying) English?	→ (Where) (is) (she) (studying) English?
で き ま す	can+動詞の原形で「~することが出来る」という意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 can not は can't と短縮できます。	① 彼女は英語を <u>勉強することが出来ます</u> 。 → (She) (can) (study) English.	→ (She) (can) (study) English.
		② 彼女は英語を <u>勉強することが出来ません</u> 。 → (She) (can't) (study) English.	→ (She) (can't) (study) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ますか</u> ？ → (Can) (she) (study) English?	→ (Can) (she) (study) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女は <u>出来ます</u> 。 → Yes, (she) (can).	→ Yes, (she) (can).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女は <u>出来ません</u> 。 → No, (she) (can't).	→ No, (she) (can't).
		⑥ どこで彼女は英語を <u>勉強すること出来ますか</u> ？ → (Where) (can) (she) (study) English?	→ (Where) (can) (she) (study) English?
し な さ い	英語は <u>誰が</u> <u>どうする</u> <u>何を</u> という順番になります。 <u>誰が</u> がなく、 <u>どうする</u> で始まると命令文になります。 命令文の前に Please をつけると「して下さい」という意味。 命令文の前に Let's をつけると「しましょう」という意味。 命令文の前に Don't をつけると「してはいけません」という意味。 命令文の前に Shall we をつけると「しましょうか?」という意味。	① あなたは英語を <u>勉強します</u> 。 → (You) (study) English.	→ (You) (study) English.
		② 英語を <u>勉強しなさい</u> 。 → (Study) English.	→ (Study) English.
		③ 英語を <u>勉強して下さい</u> 。 → (Please) (study) English.	→ (Please) (study) English.
		④ 英語を <u>勉強しましょう</u> 。 → (Let's) (study) English.	→ (Let's) (study) English.
		⑤ 英語を <u>勉強してはいけません</u> 。 → (Don't) (study) English.	→ (Don't) (study) English.
		⑥ 英語を <u>勉強しましょうか</u> ？ → (Shall) (we) (study) English?	→ (Shall) (we) (study) English?
ま と め	be 動詞は「です」や「います」という意味です。 英語は <u>誰が</u> <u>どうする</u> <u>何を</u> という順番になります。 主語が3人称で単数の場合、一般動詞に s がつきます。 be 動詞+一般動詞の ing 形で「~している」という意味です。 can+動詞の原形で「~することが出来る」という意味です。 <u>誰が</u> がなく、 <u>どうする</u> で始まると命令文になります。	① 彼はカナダに <u>います</u> 。 → (They) (are) in Canada.	→ (They) (are) in Canada.
		② 彼らは英語を <u>勉強します</u> 。 → (They) (study) English.	→ (They) (study) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強します</u> 。 → (She) (studies) English.	→ (She) (studies) English.
		④ 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。 → (She) (is) (studying) English.	→ (She) (is) (studying) English.
		⑤ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ます</u> 。 → (She) (can) (study) English.	→ (She) (can) (study) English.
		⑥ 英語を <u>勉強しなさい</u> 。 → (Study) English.	→ (Study) English.

<p>し ま し た</p> <p>一般動詞に ed をつけると「～しました」という意味です。 e で終わる語は、d だけをつけます。 子音字+y で終わる語は、y を i に変えて ed をつけます。 didn't を一般動詞の原形の前につけると否定文になります。 Did を文頭に置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+did. / No, 主語+didn't.</p>	<p>① 彼女は英語を勉強しました。 → (She) (studied) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強しませんでした。 → (She) (didn't) (study) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強しましたか? → (Did) (she) (study) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はしました。 → Yes, (she) (did).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はしませんでした。 → No, (she) (didn't).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強しましたか? → (Where) (did) (she) (study) English?</p>	
<p>で し た</p> <p>am, is を was に、are を were にすると過去形になります。 過去形の場合も、否定文・疑問文・返事は同じパターンです。 was not は wasn't, were not は weren't と短縮できます。</p>	<p>① 彼はカナダにいました。 → (He) (was) in Canada.</p> <p>② 彼はカナダにいませんでした。 → (He) (wasn't) in Canada.</p> <p>③ 彼はカナダにいましたか? → (Was) (he) in Canada?</p> <p>④ (③の疑問文に対して)はい、彼はいました。 → Yes, (he) (was).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼はいませんでした。 → No, (he) (wasn't).</p> <p>⑥ どこに彼はいましたか? → (Where) (was) (he)?</p>	
<p>し て い ま し た</p> <p>be 動詞+一般動詞の ing 形で「～している」という意味です。 be 動詞を was, were にすると過去形になります。 過去形の場合も、否定文・疑問文・返事は同じパターンです。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強していました。 → (She) (was) (studying) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強していませんでした。 → (She) (wasn't) (studying) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強していましたか? → (Was) (she) (studying) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はしていました。 → Yes, (she) (was).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はしていませんでした。 → No, (she) (wasn't).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強していましたか? → (Where) (was) (she) (studying) English?</p>	
<p>で ま し た</p> <p>can 「出来る」の過去形は could です。 過去形の場合も、否定文・疑問文・返事は同じパターンです。 could not は couldn't と短縮できます。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強することが出来ました。 → (She) (could) (study) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強することが出来ませんでした。 → (She) (couldn't) (study) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強することが出来ましたか? → (Could) (she) (study) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して)はい、彼女は出来ました。 → Yes, (she) (could).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女は出来ませんでした。 → No, (she) (couldn't).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強すること出来ましたか? → (Where) (could) (she) (study) English?</p>	
<p>す つ も り</p> <p>be 動詞+going to ~ で「～するつもり」という未来の意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 be 動詞を was, were にすると「～するつもりでした」という意味。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強するつもりです。 → (She) (is) (going) (to) (study) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強するつもりではありません。 → (She) (isn't) (going) (to) (study) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強するつもりですか? → (Is) (she) (going) (to) (study) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はするつもりです。 → Yes, (she) (is).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はするつもりではありません。 → No, (she) (isn't).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強するつもりですか? → (Where) (is) (she) (going) to study English?</p>	
<p>す る で し よ う</p> <p>will+動詞の原形で「～するでしょう」という未来の意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 will not は won't と短縮できます。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強するでしょう。 → (She) (will) (study) English.</p> <p>② 彼女は英語を勉強しないでしょ。 → (She) (won't) (study) English.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強するでしょうか? → (Will) (she) (study) English?</p> <p>④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はするでしょう。 → Yes, (she) (will).</p> <p>⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はしないでしょ。 → No, (she) (won't).</p> <p>⑥ どこで彼女は英語を勉強するでしょうか? → (Where) (will) (she) (study) English?</p>	
<p>ま と め</p> <p>一般動詞に ed をつけると「～しました」という意味です。 am, is を was に、are を were にすると過去形になります。 be 動詞の過去形+動詞の ing 形で「～していた」という意味です。 can 「出来る」の過去形は could です。 be 動詞+going to ~ で「～するつもり」という未来の意味です。 will+動詞の原形で「～するでしょう」という未来の意味です。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強しました。 → (She) (studied) English.</p> <p>② 彼はカナダにいました。 → (He) (was) in Canada.</p> <p>③ 彼女は英語を勉強していました。 → (She) (was) (studying) English.</p> <p>④ 彼女は英語を勉強することが出来ました。 → (She) (could) (study) English.</p> <p>⑤ 彼女は英語を勉強するつもりです。 → (She) (is) (going) (to) (study) English.</p> <p>⑥ 彼女は英語を勉強するでしょう。 → (She) (will) (study) English.</p>	

せねばならぬ	have to+動詞の原形 で「～せねばならない」という意味です。 主語が3人称単数の場合、has to+動詞の原形 になります。 否定文・疑問文・返事は、一般動詞のパターンと同じです。 否定文は「～しなくてもよい」という意味になります。	① 彼女は英語を勉強せねばなりません。	→ (She) (has) (to) (study) English.
		② 彼女は英語を勉強しなくてもよいです。	→ (She) (doesn't) (have) (to) (study) English.
		③ 彼女は英語を勉強せねばなりませんか?	→ (Does) (she) (have) (to) (study) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はせねばなりません。	→ Yes, (she) (does).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はしなくてもよいです。	→ No, (she) (doesn't).
		⑥ どこで彼女は英語を勉強せねばなりませんか?	→ (Where) (does) (she) (have) to study English?
せねばならぬ	must+動詞の原形も「～せねばならない」という意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 must not は mustn't と短縮できます。 否定文は「～してはいけない」という意味になります。	① 彼女は英語を勉強せねばなりません。	→ (She) (must) (study) English.
		② 彼女は英語を勉強してはいけません。	→ (She) (mustn't) (study) English.
		③ 彼女は英語を勉強せねばなりませんか?	→ (Must) (she) (study) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はせねばなりません。	→ Yes, (she) (must).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はしてはいけません。	→ No, (she) (mustn't).
		⑥ どこで彼女は英語を勉強せねばなりませんか?	→ (Where) (must) (she) (study) English?
あります	There is ~ で「～があります」という意味です。 複数のある場合、There are ~ になります。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 be 動詞を was, were にすると「～ありました」という意味。 some は、否定文や疑問文では any に変わります。	① 机の上いくつか本があります。	→ (There) (are) (some) books on the desk.
		② 机の上に全然本がありません。	→ (There) (are't) (any) books on the desk.
		③ 机の上いくつか本がありますか?	→ (Are) (there) (any) books on the desk?
		④ (③の疑問文に対して)はい、あります。	→ Yes, (there) (are).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、ありません。	→ No, (there) (aren't).
		⑥ 机の上いくつか本がありました。	→ (There) (were) (some) books on the desk.
されます	be 動詞+過去分詞形 で「～されます」という意味です。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 be 動詞を was, were にすると「～されました」という意味。	① 彼らによって、英語は勉強されます。	→ (English) (is) (studied) by them.
		② 彼らによって、英語は勉強されません。	→ (English) (isn't) (studied) by them.
		③ 彼らによって、英語は勉強されますか?	→ (Is) (English) (studied) by them?
		④ (③の疑問文に対して)はい、されます。	→ Yes, (it) (is).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、されません。	→ No, (it) (isn't).
		⑥ 彼らによって、どこで英語は勉強されますか?	→ (Where) (is) (English) (studied) by them?
ずっとする	主語が3人称単数の場合、have は has になります。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 have+動詞の過去分詞形 は、他に「～したことがある」、「～してしまっただ」、「～したところだ」という意味もあります。	① 彼女は英語をずっと勉強しています。	→ (She) (has) (studied) English.
		② 彼女は英語をずっと勉強していません。	→ (She) (hasn't) (studied) English.
		③ 彼女は英語をずっと勉強していますか?	→ (Has) (she) (studied) English?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はずっとしています。	→ Yes, (she) (has).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はずっとしていません。	→ No, (she) (hasn't).
		⑥ どこで彼女は英語をずっと勉強していますか?	→ (Where) (has) (she) (studied) English?
したことがある	have been to ~ で「～に行ったことがある」という意味です。 go「行く」を使わないので注意しましょう。 否定文・疑問文・返事は、be 動詞のパターンと同じです。 「今までに～したことがない」という場合、not の代わりに never を使います。	① 彼女はカナダに行ったことがあります。	→ (She) (has) (been) (to) Canada.
		② 彼女はカナダに行ったことがありません。	→ (She) (hasn't) (been) (to) Canada.
		③ 彼女はカナダに行ったことがありますか?	→ (Has) (she) (been) (to) Canada?
		④ (③の疑問文に対して)はい、彼女はあります。	→ Yes, (she) (has).
		⑤ (③の疑問文に対して)いいえ、彼女はありません。	→ No, (she) (hasn't).
		⑥ 彼女はカナダに今までに行ったことがありません。	→ (She) (has) (never) (been) (to) Canada.
まとめ	have to+動詞の原形 で「～せねばならない」という意味です。 must+動詞の原形も「～せねばならない」という意味です。 There is (are) ~ で「～があります」という意味です。 be 動詞+過去分詞形 で「～されます」という意味です。 have+動詞の過去分詞形 で「ずっと～している」という意味です。 have been to ~ で「～に行ったことがある」という意味です。	① 彼女は英語を勉強せねばなりません。	→ (She) (has) (to) (study) English.
		② 彼女は英語を勉強せねばなりません。	→ (She) (must) (study) English.
		③ 机の上いくつか本があります。	→ (There) (are) (some) books on the desk.
		④ 彼らによって、英語は勉強されます。	→ (English) (is) (studied) by them.
		⑤ 彼女は英語をずっと勉強しています。	→ (She) (has) (studied) English.
		⑥ 彼女はカナダに行ったことがあります。	→ (She) (has) (been) (to) Canada.

be	be 動詞(am, is, are)は、「です」や「います」という意味です。 be 動詞+一般動詞の ing 形で「～しています」という意味です。 be 動詞+going to ~ で「～するつもり」という未来の意味です。 be 動詞+過去分詞形 で「～されます」という意味です。 There is ~ で「～があります」という意味です。 複数のものがある場合、There are ~ になります。	① 彼はカナダに <u>います</u> 。	→ (He) (is) in Canada.
		② 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。	→ (She) (is) (studying) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりです</u> 。	→ (She) (is) (going) (to) (study) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されます</u> 。	→ (English) (is) (studied) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>あります</u> 。	→ (There) (is) (a) book on the desk.
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>あります</u> 。	→ (There) (are) (some) books on the desk.
be 否定	be 動詞の後に not をつけると否定文になります。 is not は isn't, are not は aren't と短縮できます。	① 彼はカナダに <u>いません</u> 。	→ (He) (isn't) in Canada.
		② 彼女は英語を <u>勉強していません</u> 。	→ (She) (isn't) (studying) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりではありません</u> 。	→ (She) (isn't) (going) (to) (study) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されません</u> 。	→ (English) (isn't) (studied) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありません</u> 。	→ (There) (isn't) (a) book on the desk.
		⑥ 机の上に全然本が <u>ありません</u> 。	→ (There) (aren't) (any) books on the desk.
be 疑問	be 動詞を文頭に置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+be 動詞. / No, 主語+be 動詞+not.	① 彼はカナダに <u>いますか</u> ?	→ (Is) (he) in Canada?
		② 彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ?	→ (Is) (she) (studying) English?
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりですか</u> ?	→ (Is) (she) (going) (to) (study) English?
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されますか</u> ?	→ (Is) (English) (studied) by them?
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありますか</u> ?	→ (Is) (there) (a) book on the desk?
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>ありますか</u> ?	→ (Are) (there) (any) books on the desk?
be 疑問詞	疑問詞は疑問文の前につきます。 What 「何」、Which 「どちら」、Who 「誰」、Whose 「誰の」、 Where 「どこ」、When 「いつ」、Why 「なぜ」、How 「どのように」 How long は「どの位長く」という意味です。 How many ~ は「何個の～」という意味です。 How old は「何才」という意味です。	① どこに、彼は <u>いますか</u> ?	→ (Where) (is) (he)?
		② 彼女は何才 <u>ですか</u> ?	→ (How) (old) (is) (she)?
		③ どこで、彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ?	→ (Where) (is) (she) (studying) English?
		④ どのように、彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ?	→ (How) (is) (she) (studying) English?
		⑤ どこで、彼女は英語を <u>勉強するつもりですか</u> ?	→ (Where) (is) (she) (going) to study English?
		⑥ どこで、彼らによって、英語は <u>勉強されますか</u> ?	→ (Where) (is) (English) (studied) by them?
be 過去	am, is を was に、are を were にすると過去形になります。	① 彼はカナダに <u>いました</u> 。	→ (He) (was) in Canada.
		② 彼女は英語を <u>勉強していました</u> 。	→ (She) (was) (studying) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりでした</u> 。	→ (She) (was) (going) (to) (study) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されました</u> 。	→ (English) (was) (studied) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありました</u> 。	→ (There) (was) (a) book on the desk.
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>ありました</u> 。	→ (Were) (there) (any) books on the desk.
be 過去否定	be 動詞の過去形の後に not をつけると否定文になります。 was not は wasn't, were not は weren't と短縮できます。	① 彼はカナダに <u>いませんでした</u> 。	→ (He) (wasn't) in Canada.
		② 彼女は英語を <u>勉強していませんでした</u> 。	→ (She) (wasn't) (studying) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりではなかった</u> 。	→ (She) (wasn't) (going) (to) (study) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されませんでした</u> 。	→ (English) (wasn't) (studied) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありませんでした</u> 。	→ (There) (wasn't) (a) book on the desk.
		⑥ 机の上に全然本が <u>ありませんでした</u> 。	→ (There) (weren't) (any) books on the desk.
be 過去疑問	be 動詞の過去形を文頭に置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+be 動詞. / No, 主語+be 動詞+not.	① 彼はカナダに <u>いましたか</u> ?	→ (Was) (he) in Canada?
		② 彼女は英語を <u>勉強していましたか</u> ?	→ (Was) (she) (studying) English?
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりでしたか</u> ?	→ (Was) (she) (going) (to) (study) English?
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されましたか</u> ?	→ (Was) (English) (studied) by them?
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありましたか</u> ?	→ (Was) (there) (a) book on the desk?
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>ありましたか</u> ?	→ (Were) (there) (any) books on the desk?

一般	<p>自分を1人称、相手を2人称、その他を3人称といいます。 主語が3人称で単数の場合、一般動詞にsがつきます。 ※ be動詞でisをつける主語が3人称単数だと覚えてもいいです。 haveはhavesではなくhasになります。 have to+動詞の原形で「～せねばならない」という意味です。 主語が3人称単数の場合、has to+動詞の原形になります。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>します</u> 。	→ (They) (study) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>します</u> 。	→ (She) (studies) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っています</u> 。	→ (They) (have) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っています</u> 。	→ (Ken) (has) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりません</u> 。	→ (They) (have) (to) (study) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりません</u> 。	→ (He) (has) (to) (study) English.
一般否定	<p>一般動詞の原形の前にdon'tをつけると否定文になります。 主語が3人称単数の場合、一般動詞の原形の前にdoesn't。 don't have toやdoesn't have toは「～しなくてもよい」という意味になります。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しません</u> 。	→ (They) (don't) (study) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>しません</u> 。	→ (She) (doesn't) (study) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っていません</u> 。	→ (They) (don't) (have) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っていません</u> 。	→ (Ken) (doesn't) (have) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>しなくてもよいです</u> 。	→ (They) (don't) (have) (to) (study) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>しなくてもよいです</u> 。	→ (She) (doesn't) (have) (to) (study) English.
一般疑問	<p>文頭にDoを置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+do. / No, 主語+don't. 主語が3人称単数の場合、文頭にDoes。 返事 → Yes, 主語+does. / No, 主語+doesn't.</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しますか</u> ?	→ (Do) (they) (study) English?
		② 彼女は英語を勉強 <u>しますか</u> ?	→ (Does) (she) (study) English?
		③ 彼らは1台車を <u>持っていますか</u> ?	→ (Do) (they) (have) a car?
		④ ケンは1台車を <u>持っていますか</u> ?	→ (Does) (Ken) (have) a car?
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ?	→ (Do) (they) (have) (to) (study) English?
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ?	→ (Does) (she) (have) (to) (study) English?
一般疑問詞	<p>疑問詞は疑問文の前につきます。 What「何」、Which「どちら」、Who「誰」、Whose「誰の」、 Where「どこ」、When「いつ」、Why「なぜ」、How「どのように」 How longは「どの位長く」という意味です。 How many～は「何個の～」という意味です。 How oldは「何才」という意味です。</p>	① どこで、彼らは英語を勉強 <u>しますか</u> ?	→ (Where) (do) (they) (study) English?
		② どこで、彼女は英語を勉強 <u>しますか</u> ?	→ (Where) (does) (she) (study) English?
		③ なぜ、彼らは1台車を <u>持っていますか</u> ?	→ (Why) (do) (they) (have) a car?
		④ なぜ、ケンは1台車を <u>持っていますか</u> ?	→ (Why) (does) (Ken) (have) a car?
		⑤ いつ、彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ?	→ (When) (do) (they) (have) (to) (study) English?
		⑥ いつ、彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ?	→ (When) (does) (she) (have) (to) (study) English?
一般過去	<p>一般動詞にedをつけると「～しました」という意味です。 eで終わる語は、dだけをつけます。 子音字+yで終わる語は、yをiに変えてedをつけます。 edをつけず、特別な変化をする動詞を不規則動詞といいます。 go→went、come→came、get→got、take→took、 see→saw、do→did、have→had、give→gaveなど。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しました</u> 。	→ (They) (studied) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>しました</u> 。	→ (She) (studied) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っていました</u> 。	→ (They) (had) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っていました</u> 。	→ (Ken) (had) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんでした</u> 。	→ (They) (had) (to) (study) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんでした</u> 。	→ (She) (had) (to) (study) English.
一般過去否定	<p>didn'tを一般動詞の原形の前につけると否定文になります。 過去形になると、3人称単数は関係なくなります。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しませんでした</u> 。	→ (You) (didn't) (study) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>しませんでした</u> 。	→ (She) (didn't) (study) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っていませんでした</u> 。	→ (They) (didn't) (have) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っていませんでした</u> 。	→ (Ken) (didn't) (have) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>しなくてもよかったです</u> 。	→ (They) (didn't) (have) (to) (study) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>しなくてもよかったです</u> 。	→ (She) (didn't) (have) (to) (study) English.
一般過去疑問	<p>Didを文頭に置くと過去の疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+did. / No, 主語+didn't.</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しましたか</u> ?	→ (Did) (they) (study) English?
		② 彼女は英語を勉強 <u>しましたか</u> ?	→ (Did) (she) (study) English?
		③ 彼らは1台車を <u>持っていましたか</u> ?	→ (Did) (they) (have) a car?
		④ ケンは1台車を <u>持っていましたか</u> ?	→ (Did) (Ken) (have) a car?
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんでしたか</u> ?	→ (Did) (they) (have) (to) (study) English?
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんでしたか</u> ?	→ (Did) (she) (have) (to) (study) English?

助動詞	can は、「～することが出来る」という意味です。	① 彼女は英語を勉強することが出来ます。	→ (She) (can) (study) English.
	could は、「～することが出来た」という意味です。	② 彼女は英語を勉強することが出来ました。	→ (She) (could) (study) English.
	will は、「～するでしょう」という未来の意味です。	③ 彼女は英語を勉強するでしょう。	→ (She) (will) (study) English.
	must は、「～せねばならない」という意味です。	④ 彼女は英語を勉強せねばなりません。	→ (She) (must) (study) English.
	should は、「～すべき」という意味です。	⑤ 彼女は英語を勉強すべきです。	→ (She) (should) (study) English.
	may は、「～かもしれない」という意味です。	⑥ 彼女は英語を勉強するかもしれません。	→ (She) (may) (study) English.
助動詞否定	助動詞の後に not をつけると否定文になります。	① 彼女は英語を勉強することが出来ません。	→ (She) (can't) (study) English.
	can not は can't, could not は couldn't, will not は won't,	② 彼女は英語を勉強することが出来ませんでした。	→ (She) (couldn't) (study) English.
	must not は mustn't, should not は shouldn't と短縮できます。	③ 彼女は英語を勉強しないでしょ。	→ (She) (won't) (study) English.
	may not は短縮できません。	④ 彼女は英語を勉強してはいけません。	→ (She) (mustn't) (study) English.
		⑤ 彼女は英語を勉強すべきではありません。	→ (She) (shouldn't) (study) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強しないかもしれません。	→ (She) (may) (not) (study) English.
助動詞疑問	助動詞を文頭に置くと疑問文になります。	① 彼女は英語を勉強することが出来ますか？	→ (Can) (she) (study) English?
	返事 → Yes, 主語+助動詞. / No, 主語+助動詞+not.	② 彼女は英語を勉強することが出来ましたか？	→ (Could) (she) (study) English?
		③ 彼女は英語を勉強するでしょうか？	→ (Will) (she) (study) English?
		④ 彼女は英語を勉強せねばなりませんか？	→ (Must) (she) (study) English?
		⑤ 彼女は英語を勉強すべきですか？	→ (Should) (she) (study) English?
		⑥ 彼女は英語を勉強するかもしれませんか？	→ (May) (she) (study) English? ※通常あまり使われない形
助動詞疑問詞	疑問詞は疑問文の前につきます。	① いつ、彼女は英語を勉強することが出来ますか？	→ (When) (can) (she) (study) English?
	What 「何」、Which 「どちら」、Who 「誰」、Whose 「誰の」、	② どこで、彼女は英語を勉強することが出来ましたか？	→ (Where) (could) (she) (study) English?
	Where 「どこ」、When 「いつ」、Why 「なぜ」、How 「どのように」	③ なぜ、彼女は英語を勉強するでしょうか？	→ (Why) (will) (she) (study) English?
	How long は「どの位長く」という意味です。	④ どのように、彼女は英語を勉強せねばなりませんか？	→ (How) (must) (she) (study) English?
	How many ～ は「何個の～」という意味です。	⑤ いつ、彼女は英語を勉強すべきですか？	→ (When) (should) (she) (study) English?
	How old は「何才」という意味です。	⑥ どこで、彼女は英語を勉強するかもしれませんか？	→ (Where) (may) (she) (study) English? ※通常あまり使われない形
現在完了	have+動詞の過去分詞形 は、「ずっと～している」、「～したことがある」、「～してしまった」、「～したところだ」という意味です。	① 彼らは英語をずっと勉強しています。	→ (They) (have) (studied) English.
	主語が3人称単数の場合、have は has になります。	② 彼女は英語をずっと勉強しています。	→ (She) (has) (studied) English.
	have been to ～ で「～に行ったことがある」という意味です。	③ 彼女は富士山を見たことがあります。	→ (She) (has) (seen) Mt.Fuji.
	go 「行く」を使わないので注意しましょう。	④ 彼女はカナダに行ったことがあります。	→ (She) (has) (been) (to) Canada.
		⑤ 彼女はカナダに行っていました。	→ (She) (has) (gone) (to) Canada.
		⑥ 彼女は宿題を終えたところです。	→ (She) (has) (finished) her homework.
現在完了否定	have や has の後に not をつけると否定文になります。	① 彼らは英語をずっと勉強していません。	→ (They) (haven't) (studied) English.
	have not は haven't, has not は hasn't と短縮できます。	② 彼女は英語をずっと勉強していません。	→ (She) (hasn't) (studied) English.
	「今までに～したことがない」という場合、not の代わりに never を使います。	③ 彼女は富士山を見たことがありません。	→ (She) (has) (never) (seen) Mt.Fuji.
		④ 彼女はカナダに行ったことがありません。	→ (She) (has) (never) (been) (to) Canada.
		⑤ 彼女はカナダに行っていないです。	→ (She) (hasn't) (gone) (to) Canada.
		⑥ 彼女は宿題を終えていません。	→ (She) (hasn't) (finished) her homework.
現在完了疑問	Have を文頭に置くと疑問文になります。	① 彼らは英語をずっと勉強していますか？	→ (Have) (they) (studied) English?
	返事 → Yes, 主語+have. / No, 主語+haven't.	② 彼女は英語をずっと勉強していますか？	→ (Has) (she) (studied) English?
	主語が3人称単数の場合、Has を文頭に置くと疑問文になります。	③ 彼女は富士山を見たことがありますか？	→ (Has) (she) (seen) Mt.Fuji?
	返事 → Yes, 主語+has. / No, 主語+hasn't.	④ 彼女はカナダに行ったことがありますか？	→ (Has) (she) (been) (to) Canada?
		⑤ 彼女はカナダに行っていましたか？	→ (Has) (she) (gone) (to) Canada?
		⑥ 彼女は宿題を終えたところですか？	→ (Has) (she) (finished) her homework?

肯定文	<p>be 動詞(am, is, are)は、「です」や「います」という意味。  be 動詞+一般動詞の ing 形で「～しています」という意味。  be 動詞+going to ~ で「～するつもり」という未来の意味。  be 動詞+過去分詞形 で「～されます」という意味。  There is ~ で「～があります」という意味。  can は、「～することが出来る」という意味。  will は、「～するでしょう」という未来の意味。  have+動詞の過去分詞形 は、「ずっと～している」という意味。  <u>どうする</u> という意味になる語を一般動詞といます。  主語が3人称単数の場合、一般動詞にs がつきます。  have to+動詞の原形 で「～せねばならない」という意味。  主語が3人称単数の場合、has to+動詞の原形 になります。</p>	<p>① 彼はカナダに<u>います</u>。 → (He) (is) in Canada.  ② 彼女は英語を<u>勉強しています</u>。 → (She) (is) (studying) English.  ③ 彼女は英語を<u>勉強するつもりです</u>。 → (She) (is) (going) (to) (study) English.  ④ 彼らによって、英語は<u>勉強されます</u>。 → (English) (is) (studied) by them.  ⑤ 机の上に1冊本が<u>あります</u>。 → (There) (is) (a) book on the desk.  ⑥ 彼女は英語を<u>勉強することができます</u>。 → (She) (can) (study) English.  ⑦ 彼女は英語を<u>勉強するでしょう</u>。 → (She) (will) (study) English.  ⑧ 彼女は英語を<u>ずっと勉強しています</u>。 → (She) (has) (studied) English.  ⑨ 彼らは英語を<u>勉強します</u>。 → (They) (study) English.  ⑩ 彼女は英語を<u>勉強します</u>。 → (She) (studies) English.  ⑪ 彼らは英語を<u>勉強せねばなりません</u>。 → (They) (have) (to) (study) English.  ⑫ 彼女は英語を<u>勉強せねばなりません</u>。 → (She) (has) (to) (study) English.</p>	
否定文	<p>be 動詞、助動詞、have/has の後に not で否定文になります。  一般動詞の原形の前に don't をつけると否定文になります。  主語が3人称単数の場合、一般動詞の原形の前に doesn't。  don't have to や doesn't have to は「～しなくてもよい」という意味になります。</p>	<p>① 彼はカナダに<u>いません</u>。 → (He) (isn't) in Canada.  ② 彼女は英語を<u>勉強していません</u>。 → (She) (isn't) (studying) English.  ③ 彼女は英語を<u>勉強するつもりではありません</u>。 → (She) (isn't) (going) (to) (study) English.  ④ 彼らによって、英語は<u>勉強されません</u>。 → (English) (isn't) (studied) by them.  ⑤ 机の上に1冊本が<u>ありません</u>。 → (There) (isn't) (studied) book on the desk.  ⑥ 彼女は英語を<u>勉強することが出来ません</u>。 → (She) (can't) (study) English.  ⑦ 彼女は英語を<u>勉強しないでしょ</u>う。 → (She) (won't) (study) English.  ⑧ 彼女は英語を<u>ずっと勉強していません</u>。 → (She) (hasn't) (studied) English.  ⑨ 彼らは英語を<u>勉強しません</u>。 → (They) (don't) (study) English.  ⑩ 彼女は英語を<u>勉強しません</u>。 → (She) (doesn't) (study) English.  ⑪ 彼らは英語を<u>勉強しなくてもよいです</u>。 → (They) (don't) (have) (to) (study) English.  ⑫ 彼女は英語を<u>勉強しなくてもよいです</u>。 → (She) (doesn't) (have) (to) (study) English.</p>	
疑問文	<p>be 動詞、助動詞、Have/Has を文頭に置くと疑問文になります。  一般動詞は、文頭に Do や Does を置くと疑問文になります。</p>	<p>① 彼はカナダに<u>いますか</u>? → (Is) (he) in Canada?  ② 彼女は英語を<u>勉強していますか</u>? → (Is) (she) (studying) English?  ③ 彼女は英語を<u>勉強するつもりですか</u>? → (Is) (she) (going) (to) (study) English?  ④ 彼らによって、英語は<u>勉強されますか</u>? → (Is) (English) (studied) by them?  ⑤ 机の上に1冊本が<u>ありますか</u>? → (Is) (there) (a) book on the desk?  ⑥ 彼女は英語を<u>勉強することができますか</u>? → (Can) (she) (study) English?  ⑦ 彼女は英語を<u>勉強するでしょう</u>か? → (Will) (she) (study) English?  ⑧ 彼女は英語を<u>ずっと勉強していますか</u>? → (Has) (she) (studied) English?  ⑨ 彼らは英語を<u>勉強しますか</u>? → (Do) (they) (study) English?  ⑩ 彼女は英語を<u>勉強しますか</u>? → (Does) (she) (study) English?  ⑪ 彼らは英語を<u>勉強せねばなりません</u>か? → (Do) (they) (have) (to) (study) English?  ⑫ 彼女は英語を<u>勉強せねばなりません</u>か? → (Does) (she) (have) (to) (study) English?</p>	
ラ ン ダ ム	<p>日本文の動詞の部分をよく読み、どのように英語に直すかを、じっくり考えましょう。</p>	<p>① 彼はカナダに<u>います</u>。 → (He) (is) in Canada.  ② 彼女は英語を<u>勉強するつもりではありません</u>。 → (She) (isn't) (going) (to) (study) English.  ③ 机の上に1冊本が<u>ありますか</u>? → (Is) (there) (a) book on the desk?  ④ 彼女は英語を<u>勉強するでしょう</u>。 → (She) (will) (study) English.  ⑤ 彼らは英語を<u>勉強しません</u>。 → (They) (don't) (study) English.  ⑥ 彼らは英語を<u>勉強せねばなりません</u>か? → (Do) (they) (have) (to) (study) English?</p>	

過去肯定文	<p>am, is を was に、are を were にすると過去形になります。          一般動詞は、ed をつけると過去形になります。          ed をつけず、特別な変化をする動詞を不規則動詞といいます。          go→went、come→came、get→got、take→took、          see→saw、do→did、have→had、give→gave など。</p>	<p>① 彼はカナダに<u>いました</u>。 → (He) (was) in Canada.          ② 彼女は英語を<u>勉強していました</u>。 → (She) (was) (studying) English.          ③ 彼女は英語を<u>勉強するつもりでした</u>。 → (She) (was) (going) (to) (study) English.          ④ 彼らによって、英語は<u>勉強されました</u>。 → (English) (was) (studied) by them.          ⑤ 机の上に1冊本が<u>ありました</u>。 → (There) (was) (a) book on the desk.          ⑥ 机の上にいくつか本が<u>ありました</u>。 → (There) (were) (some) books on the desk.          ⑦ 彼らは英語を<u>勉強しました</u>。 → (They) (studied) English.          ⑧ ケンは1台車を<u>持っていました</u>。 → (Ken) (had) a car.          ⑨ 彼らは英語を<u>勉強せねばなりません</u>でした。 → (They) (had) (to) (study) English.          ⑩ 彼女は英語を<u>勉強せねばなりません</u>でした。 → (She) (had) (to) (study) English.</p>	
過去否定文	<p>be 動詞の過去形の後に not をつけると否定文になります。          was not は wasn't、were not は weren't と短縮できます。          didn't を一般動詞の原形の前につけると否定文になります。          過去形になると、3人称単数は関係なくなります。</p>	<p>① 彼はカナダに<u>いません</u>でした。 → (He) (wasn't) in Canada.          ② 彼女は英語を<u>勉強していません</u>でした。 → (She) (wasn't) (studying) English.          ③ 彼女は英語を<u>勉強するつもりではありません</u>でした。 → (She) (wasn't) (going) (to) (study) English.          ④ 彼らによって、英語は<u>勉強されませんでした</u>。 → (English) (wasn't) (studied) by them.          ⑤ 机の上に1冊本が<u>ありません</u>でした。 → (There) (wasn't) (a) book on the desk.          ⑥ 机の上に全然本が<u>ありません</u>でした。 → (There) (weren't) (any) books on the desk.          ⑦ 彼らは英語を<u>勉強しませんでした</u>。 → (They) (didn't) (study) English.          ⑧ ケンは1台車を<u>持っていません</u>でした。 → (Ken) (didn't) (have) a car.          ⑨ 彼らは英語を<u>勉強しなくてもよかったです</u>。 → (They) (didn't) (have) (to) (study) English.          ⑩ 彼女は英語を<u>勉強しなくてもよかったです</u>。 → (She) (didn't) (have) (to) (study) English.</p>	
過去疑問文	<p>be 動詞の過去形を文頭に置くと疑問文になります。          返事 → Yes, 主語+be 動詞. / No, 主語+be 動詞+not.          Did を文頭に置くと過去の疑問文になります。          返事 → Yes, 主語+did. / No, 主語+didn't.</p>	<p>① 彼はカナダに<u>いましたか</u>? → (Was) (he) in Canada?          ② 彼女は英語を<u>勉強していましたか</u>? → (Was) (she) (studying) English?          ③ 彼女は英語を<u>勉強するつもりでしたか</u>? → (Was) (she) (going) (to) (study) English?          ④ 彼らによって、英語は<u>勉強されましたか</u>? → (Was) (English) (studied) by them?          ⑤ 机の上に1冊本が<u>ありましたか</u>? → (Was) (there) (a) book on the desk?          ⑥ 机の上にいくつか本が<u>ありましたか</u>? → (Were) (there) (any) books on the desk?          ⑦ 彼らは英語を<u>勉強しましたか</u>? → (Did) (they) (study) English?          ⑧ ケンは1台車を<u>持っていましたか</u>? → (Did) (Ken) (have) a car?          ⑨ 彼らは英語を<u>勉強せねばなりません</u>でしたか? → (Did) (they) (have) (to) (study) English?          ⑩ 彼女は英語を<u>勉強せねばなりません</u>でしたか? → (Did) (she) (have) (to) (study) English?</p>	
ラウンドム	<p>日本語の動詞の部分をよく読み、どのように英語に直すかを、じっくり考えましょう。</p>	<p>① 彼女は英語を<u>勉強していました</u>。 → (She) (was) (studying) English.          ② 彼らによって、英語は<u>勉強されませんでした</u>。 → (English) (wasn't) (studied) by them.          ③ 机の上にいくつか本が<u>ありましたか</u>? → (Were) (there) (any) books on the desk?          ④ ケンは1台車を<u>持っていましたか</u>? → (Did) (Ken) (have) a car?          ⑤ 彼女は英語を<u>勉強せねばなりません</u>でした。 → (She) (had) (to) (study) English.          ⑥ 彼はカナダに<u>いません</u>でした。 → (He) (wasn't) in Canada.          ⑦ 彼女は英語を<u>勉強するつもりでしたか</u>? → (Was) (she) (going) (to) (study) English?          ⑧ 彼らは英語を<u>勉強しましたか</u>? → (Did) (they) (study) English?          ⑨ 彼らは英語を<u>勉強しなくてもよかったです</u>。 → (They) (didn't) (have) (to) (study) English.          ⑩ 机の上に1冊本が<u>ありません</u>でした。 → (There) (wasn't) (a) book on the desk.          ⑪ 彼らは英語を<u>勉強しました</u>。 → (They) (studied) English.          ⑫ ケンは1台車を<u>持っていません</u>でした。 → (Ken) (didn't) (have) a car.</p>	

現在	be 動詞、一般動詞、助動詞が混ざっても、きちんと英語に直せるようにしましょう。	① 彼はカナダに <u>います</u> 。	→ (He) (is) in Canada.
		② 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。	→ (She) (is) (studying) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりです</u> 。	→ (She) (is) (going) (to) (study) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されます</u> 。	→ (English) (is) (studied) by them.
		⑤ 机の上にいくつか本が <u>あります</u> 。	→ (There) (are) (some) books on the desk.
		⑥ 彼女は英語を <u>勉強します</u> 。	→ (She) (studies) English.
		⑦ 彼らは英語を <u>勉強せねばなりません</u> 。	→ (They) (have) (to) (study) English.
		⑧ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ます</u> 。	→ (She) (can) (study) English.
		⑨ 彼らは英語を <u>ずっと勉強しています</u> 。	→ (They) (have) (studied) English.
		⑩ 彼女はカナダに <u>行ったことがあります</u> 。	→ (She) (has) (been) (to) Canada.
過去	be 動詞、一般動詞、助動詞の過去形が混ざっても、きちんと英語に直せるようにしましょう。	① 彼はカナダに <u>いました</u> 。	→ (He) (was) in Canada.
		② 彼女は英語を <u>勉強していました</u> 。	→ (She) (was) (studying) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりでした</u> 。	→ (She) (was) (going) (to) (study) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されました</u> 。	→ (English) (was) (studied) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありました</u> 。	→ (There) (was) (a) book on the desk.
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>ありました</u> 。	→ (There) (were) (some) books on the desk.
		⑦ 彼女は英語を <u>勉強しました</u> 。	→ (She) (studied) English.
		⑧ 彼らは1台車を <u>持っていました</u> 。	→ (They) (had) a car.
		⑨ 彼らは英語を <u>勉強せねばなりませんでした</u> 。	→ (They) (had) (to) (study) English.
		⑩ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ました</u> 。	→ (She) (could) (study) English.
ラ ン ダ ム	現在形と過去形の否定文や疑問文が混ざっても、きちんと英語に直せるようにしましょう。	① 彼女は英語を <u>勉強するつもりです</u> 。	→ (She) (is) (going) (to) (study) English.
		② 机の上にいくつか本が <u>あります</u> 。	→ (There) (are) (some) books on the desk.
		③ 彼はカナダに <u>いました</u> 。	→ (He) (was) in Canada.
		④ 彼女はカナダに <u>行ったことがあります</u> 。	→ (She) (has) (been) (to) Canada.
		⑤ 彼女は英語を <u>勉強しました</u> 。	→ (She) (studied) English.
		⑥ 彼はカナダに <u>います</u> 。	→ (He) (is) in Canada.
		⑦ 彼女は英語を <u>勉強するつもりでした</u> 。	→ (She) (was) (going) (to) (study) English.
		⑧ 彼らは英語を <u>勉強せねばなりませんでした</u> 。	→ (They) (had) (to) (study) English.
		⑨ 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。	→ (She) (is) (studying) English.
		⑩ 彼らは1台車を <u>持っていました</u> 。	→ (They) (had) a car.
		⑪ 彼女は英語を <u>勉強します</u> 。	→ (She) (studies) English.
		⑫ 彼らによって、英語は <u>勉強されました</u> 。	→ (English) (was) (studied) by them.
		⑬ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ました</u> 。	→ (She) (could) (study) English.
		⑭ 彼らによって、英語は <u>勉強されます</u> 。	→ (English) (is) (studied) by them.
		⑮ 机の上に1冊本が <u>ありました</u> 。	→ (There) (was) (a) book on the desk.
		⑯ 彼らは英語を <u>勉強せねばなりません</u> 。	→ (They) (have) (to) (study) English.
		⑰ 彼女は英語を <u>勉強することが出来ます</u> 。	→ (She) (can) (study) English.
		⑱ 彼女は英語を <u>勉強していました</u> 。	→ (She) (was) (studying) English.
		⑲ 彼らは英語を <u>ずっと勉強しています</u> 。	→ (They) (have) (studied) English.
		⑳ 机の上にいくつか本が <u>ありました</u> 。	→ (There) (were) (some) books on the desk.

様々な文が混ざっても、きちんと英語に直せるようにしましょう。

① 私はアメリカ出身 <u>です</u> 。	→ (I) (am) from America.
② 私はこの自転車を <u>ずっと使っています</u> 。	→ (I) (have) (used) this bike.
③ 机の下に1本ペンが <u>あります</u> 。	→ (There) (is) (a) pen under the desk.
④ 私はこの自転車を <u>使わねばなりません</u> 。	→ (I) (must) (use) this bike.
⑤ 私はこの自転車を <u>使うつもりです</u> 。	→ (I) (am) (going) (to) (use) this bike.
⑥ 私はこの自転車を <u>使うことができます</u> 。	→ (I) (can) (use) this bike.
⑦ 私はこの自転車を <u>使っています</u> 。	→ (I) (am) (using) this bike.
⑧ 私はこの自転車を <u>使います</u> 。	→ (I) (use) this bike.
⑨ 机の下に何本かペンが <u>あります</u> 。	→ (There) (are) (some) pens under the desk.
⑩ 私によって、この自転車は <u>使われます</u> 。	→ (This) (bike) (is) (used) by me.
⑪ さくらはこの自転車を <u>使います</u> 。	→ (Sakura) (uses) this bike.
⑫ 私はこの自転車を <u>使うでしょう</u> 。	→ (I) (will) (use) this bike.
⑬ 私はこの自転車を <u>使わねばなりません</u> 。	→ (I) (have) (to) (use) this bike.
⑭ さくらはこの自転車を <u>使わねばなりません</u> 。	→ (Sakura) (has) (to) (use) this bike.
① 彼は日本語を <u>話します</u> 。	→ (He) (speaks) Japanese.
② 私は日本語を <u>話すでしょう</u> 。	→ (I) (will) (speak) Japanese.
③ 私達は日本語を <u>話さねばなりません</u> 。	→ (We) (have) (to) (speak) Japanese.
④ 彼は日本語を <u>話さねばなりません</u> 。	→ (He) (has) (to) (speak) Japanese.
⑤ 私達はカナダに <u>います</u> 。	→ (We) (are) in Canada.
⑥ 私達は日本語を <u>ずっと話しています</u> 。	→ (We) (have) (spoken) Japanese.
⑦ イスの上に1冊本が <u>あります</u> 。	→ (There) (is) (a) book on the chair.
⑧ 私達は日本語を <u>話さねばなりません</u> 。	→ (We) (must) (speak) Japanese.
⑨ 私達は日本語を <u>話します</u> 。	→ (We) (speak) Japanese.
⑩ イスの上に何冊か本が <u>あります</u> 。	→ (There) (are) (some) books on the chair.
⑪ 私達によって、日本語は <u>話されます</u> 。	→ (Japanese) (is) (spoken) by us.
⑫ 私達は日本語を <u>話すつもりです</u> 。	→ (We) (are) (going) (to) (speak) Japanese.
⑬ 私達は日本語を <u>話すことができます</u> 。	→ (We) (can) (speak) Japanese.
⑭ 私達は日本語を <u>話しています</u> 。	→ (We) (are) (speaking) Japanese.
① 彼女はピアノを <u>演奏します</u> 。	→ (She) (plays) the piano.
② あなたはピアノを <u>演奏するでしょう</u> 。	→ (You) (will) (play) the piano.
③ あなたはピアノを <u>演奏せねばなりません</u> 。	→ (You) (have) (to) (play) the piano.
④ 彼女はピアノを <u>演奏せねばなりません</u> 。	→ (She) (has) (to) (play) the piano.
⑤ あなたは英語の先生 <u>です</u> 。	→ (You) (are) an English teacher.
⑥ あなたはピアノを <u>ずっと演奏しています</u> 。	→ (You) (have) (played) the piano.
⑦ カバンの中に1冊本が <u>あります</u> 。	→ (There) (is) (a) book in the bag.
⑧ あなたはピアノを <u>演奏せねばなりません</u> 。	→ (You) (must) (play) the piano.
⑨ あなたはピアノを <u>演奏します</u> 。	→ (You) (play) the piano.
⑩ カバンの中に何冊か本が <u>あります</u> 。	→ (There) (are) (some) books in the piano.
⑪ あなたによって、そのピアノは <u>演奏されます</u> 。	→ (The) (piano) (is) (played) by you.
⑫ あなたはピアノを <u>演奏するつもりです</u> 。	→ (You) (are) (going) (to) (play) the piano.
⑬ あなたはピアノを <u>演奏することができます</u> 。	→ (You) (can) (play) the piano.
⑭ あなたはピアノを <u>演奏しています</u> 。	→ (You) (are) (playing) the piano.

ラ  
ン  
ダ  
ム

現在形と過去形の否定文や疑問文が混ざっても、きちんと英語に直せるようにしましょう。

① 彼女は英語を勉強することが出来ません。	→ (She) (can't) (study) English.
② 机の上に1冊本がありますか？	→ (Is) (there) (a) book on the desk?
③ 彼女は英語を勉強するつもりではありませんでした。	→ (She) (wasn't) (going) (to) (study) English.
④ 彼女は英語を勉強するでしょう。	→ (She) (will) (study) English.
⑤ 彼女は英語をずっと勉強しています。	→ (She) (has) (studied) English.
⑥ ケンは1台車を持っていました。	→ (Ken) (had) a car.
⑦ 彼はカナダにいました。	→ (He) (was) in Canada.
⑧ 彼女は英語を勉強せねばなりませんか？	→ (Does) (she) (have) (to) (study) English?
⑨ 彼はカナダにいます。	→ (He) (is) in Canada.
⑩ 彼女は英語を勉強せねばなりません。	→ (She) (must) (study) English.
① 彼女は英語を勉強せねばなりません。	→ (She) (has) (to) (study) English.
② 彼らによって、英語は勉強されますか？	→ (Is) (English) (studied) by them?
③ 彼らは英語を勉強しなくてもよいです。	→ (They) (don't) (have) (to) (speak) English.
④ 彼らは英語を勉強しますか？	→ (Do) (they) (speak) English?
⑤ 彼女は英語を勉強するつもりではありません。	→ (She) (isn't) (going) (to) (study) English.
⑥ 彼女は富士山を見たことがありますか？	→ (Has) (she) (seen) Mt.Fuji?
⑦ 彼女は英語を勉強することが出来ます。	→ (She) (can) (study) English.
⑧ 彼らは英語を勉強します。	→ (They) (study) English.
⑨ 彼女はカナダに行っていましたか？	→ (Has) (she) (gone) (to) Canada?
⑩ 彼女は英語を勉強しています。	→ (She) (is) (studying) English.
① 机の上に全然本がありませんでした。	→ (There) (weren't) (any) books on the desk.
② 彼女は英語を勉強することが出来ましたか？	→ (Could) (she) (study) English?
③ 机の上にいくつか本がありますか？	→ (Are) (there) (any) books on the desk?
④ 彼らによって、英語は勉強されませんでした。	→ (English) (wasn't) (spoken) by them.
⑤ 彼女は英語を勉強しますか？	→ (Does) (she) (study) English?
⑥ 彼女は英語を勉強するかもしれません。	→ (She) (may) (study) English.
⑦ 彼女は英語を勉強しましたか？	→ (Did) (she) (study) English?
⑧ 彼女は英語を勉強すべきですか？	→ (Should) (she) (study) English?
⑨ 彼女は英語を勉強しません。	→ (She) (doesn't) (study) English.
⑩ 彼女はカナダに行ったことがあります。	→ (She) (has) (been) (to) Canada.
① 彼らは英語を勉強せねばなりません。	→ (They) (have) (to) (study) English.
② 机の上に1冊本がありませんでした。	→ (There) (wasn't) (a) book on the desk.
③ 彼女は英語を勉強していました。	→ (She) (was) (studying) English.
④ 彼女は英語をずっと勉強していません。	→ (She) (hasn't) (studied) English.
⑤ 彼らによって、英語は勉強されません。	→ (English) (isn't) (studied) by them.
⑥ 彼女は英語を勉強しませんでした。	→ (She) (didn't) (study) English.
⑦ 彼女は英語を勉強するつもりでしたか？	→ (Was) (she) (going) (to) (study) English?
⑧ 彼女は英語を勉強するのでしょうか？	→ (Will) (she) (study) English?
⑨ 彼女は英語を勉強することが出来ませんでした。	→ (She) (couldn't) (study) English.
⑩ 机の上に全然本がありません。	→ (There) (aren't) (any) books on the desk.

ラ  
ン  
ダ  
ム

現在形と過去形の否定文や疑問文が混ざっても、きちんと英語に直せるようにしましょう。

① 彼はカナダに <u>いません</u> でした。	→ (He) (wasn't) in Canada.
② 彼女は英語を <u>勉強するつもり</u> ですか？	→ (Is) (she) (going) (to) (study) English?
③ 彼女は英語を <u>ずっと勉強</u> していますか？	→ (Has) (she) (studied) English?
④ 彼らは英語を <u>勉強せねば</u> なりませんか？	→ (Do) (they) (have) (to) (study) English?
⑤ 彼はカナダに <u>いません</u> 。	→ (He) (isn't) in Canada.
⑥ 彼女は英語を <u>勉強して</u> はいけません。	→ (She) (mustn't) (study) English.
⑦ 彼女は英語を <u>勉強しない</u> でしょう。	→ (She) (won't) (study) English.
⑧ 彼女は英語を <u>勉強</u> しました。	→ (She) (studied) English.
⑨ ケンは1台車を <u>持っ</u> ていませんでした。	→ (Ken) (didn't) (have) a car.
⑩ 彼女は英語を <u>勉強しなくても</u> よいです。	→ (She) (doesn't) (have) (to) (study) English.
① ケンは1台車を <u>持っ</u> ていましたか？	→ (Did) (Ken) (have) a car?
② 彼女は英語を <u>勉強</u> します。	→ (She) (studies) English.
③ 机の上にいくつか本が <u>あり</u> ましたか？	→ (Were) (there) (any) books on the desk?
④ 彼女は英語を <u>勉強せねば</u> なりませんか？	→ (Must) (she) (study) English?
⑤ 彼はカナダに <u>いま</u> したか？	→ (Was) (he) in Canada?
⑥ 彼女は英語を <u>勉強して</u> いませんでした。	→ (She) (wasn't) (studying) English.
⑦ 彼女は英語を <u>勉強して</u> いません。	→ (She) (isn't) (studying) English.
⑧ 彼女は英語を <u>勉強</u> すべきです。	→ (She) (should) (study) English.
⑨ 彼はカナダに <u>いま</u> るか？	→ (Is) (he) in Canada?
⑩ 机の上に1冊本が <u>あり</u> ましたか？	→ (Was) (there) (a) book on the desk?
① 彼らによって、英語は <u>勉強</u> されます。	→ (English) (is) (studied) by them.
② 彼女は英語を <u>勉強</u> することが出来ますか？	→ (Can) (she) (study) English?
③ 彼女は英語を <u>勉強</u> することが出来ました。	→ (She) (could) (study) English.
④ 彼女はカナダに <u>行っ</u> たことがありません。	→ (She) (has) (never) (been) (to) Canada.
⑤ 彼女は英語を <u>勉強</u> すべきではありません。	→ (She) (shouldn't) (study) English.
⑥ 彼らは英語を <u>勉強</u> しません。	→ (They) (don't) (study) English.
⑦ 彼女はカナダに <u>行っ</u> てしまいました。	→ (She) (has) (gone) (to) Canada.
⑧ 彼女は英語を <u>勉強</u> していましたか？	→ (Was) (she) (studying) English?
⑨ 彼女は英語を <u>勉強</u> していますか？	→ (Is) (she) (studying) English?
⑩ 彼女は英語を <u>勉強</u> するつもりです。	→ (She) (is) (going) (to) (study) English.
① 彼女はカナダに <u>行っ</u> たことがありますか？	→ (Has) (she) (been) (to) Canada?
② 彼らによって、英語は <u>勉強</u> されましたか？	→ (Was) (English) (studied) by them?
③ 机の上にいくつか本が <u>あり</u> ます。	→ (There) (are) (some) books on the desk.
④ 彼女は宿題を <u>終</u> えたところです。	→ (She) (has) (finished) her homework.
⑤ 彼女は富士山を <u>見</u> たことがありません。	→ (She) (has) (never) (seen) Mt.Fuji.
⑥ 英語を <u>勉強</u> しなさい。	→ (Study) English.
⑦ 英語を <u>勉強</u> して下さい。	→ (Please) (study) English.
⑧ 英語を <u>勉強</u> しましょう。	→ (Let's) (study) English.
⑨ 英語を <u>勉強</u> してはいけません。	→ (Don't) (study) English.
⑩ 英語を <u>勉強</u> しましょうか？	→ (Shall) (we) (study) English?

疑問詞	<p>疑問詞は疑問文の前につきます。</p> <p>What「何」、Which「どちら」、Who「誰」、Whose「誰の」、Where「どこ」、When「いつ」、Why「なぜ」、How「どのように」</p> <p>How long は「どの位長く」という意味です。</p> <p>How many ～ は「何個の～」という意味です。</p> <p>How old は「何才」という意味です。</p>	<p>① <u>どのように</u>彼女は英語を勉強していますか？ → (How) (is) (she) (studying) English?</p> <p>② <u>なぜ</u>彼女は英語を勉強しますか？ → (Why) (does) (she) (study) English?</p> <p>③ <u>いつ</u>彼女は英語を勉強しましたか？ → (When) (did) (she) (study) English?</p> <p>④ <u>どの位長く</u>彼女は英語を勉強することができますか？ → (How) (long) (can) (she) (study) English?</p> <p>⑤ <u>何冊の本を</u>彼女は持っていますか？ → (How) (many) (books) (does) (she) have?</p> <p>⑥ 彼女は<u>何才</u>ですか？ → (How) (old) (is) (she)?</p>	
動名詞	<p>動詞+ing を動名詞、to+動詞の原形を不定詞といいます。</p> <p>どちらも、「～すること」という意味があります。</p> <p>基本的には、動名詞と不定詞のどちらを使っても構いません。</p> <p>enjoy、stop、finish の後は動名詞しか使えません。</p> <p>want、hope、decide の後は不定詞しか使えません。</p>	<p>① 私は英語を<u>勉強すること</u>が好きです。 → I like (to) (study) English.</p> <p>② 私は英語を<u>勉強すること</u>が好きです。 → I like (studying) English.</p> <p>③ 私は英語を<u>勉強すること</u>を終わりました。(正しい方に○) → I finished ( to study / <b>studying</b> ) English.</p> <p>④ 私は英語を<u>勉強すること</u>に決めました。(正しい方に○) → I decided ( <b>to study</b> / studying ) English.</p> <p>⑤ 私は英語を<u>勉強すること</u>を望みます。(正しい方に○) → I want ( <b>to study</b> / studying ) English.</p> <p>⑥ 私は英語を<u>勉強すること</u>を楽しみました。(正しい方に○) → I enjoyed ( to study / <b>studying</b> ) English.</p>	
不定詞	<p>不定詞は「～すること」以外に、「～するために」「～するための」「～して」などの意味があります。</p> <p>ask 人+不定詞で「人に～するよう頼む」という意味です。</p> <p>tell 人+不定詞 で「人に～するよう言う」という意味です。</p> <p>want 人+不定詞 で「人が～するのを望む」という意味です。</p>	<p>① 私は英語を<u>勉強するために</u>図書館に行きました。 → I went to the library (to) (study) English.</p> <p>② 私は英語を<u>勉強するための</u>本を買いました。 → I bought a book (to) (study) English.</p> <p>③ 私は英語を<u>勉強して</u>うれしいです。 → I'm happy (to) (study) English.</p> <p>④ 私は彼女に英語を<u>勉強するよう</u>頼みました。 → I (asked) her (to) (study) English.</p> <p>⑤ 私は彼女に英語を<u>勉強するよう</u>言いました。 → I (told) her (to) (study) English.</p> <p>⑥ 私は彼女が英語を<u>勉強するのを</u>望みます。 → I (want) her (to) (study) English.</p>	
不定詞	<p>It is … +不定詞 で「～することは…です」という意味です。</p> <p>for+人「人にとって」を加えることも出来ます。</p> <p>疑問詞+不定詞で「～すべきか」という意味です。</p> <p>how+不定詞は「どのように～すべきか」という意味ですが、自然な日本語に直すと「～の仕方」になります。</p>	<p>① 英語を<u>勉強すること</u>は楽しいです。 → It is fun (to) (study) English.</p> <p>② 私にとって英語を<u>勉強すること</u>は楽しいです。 → It is fun (for) (me) (to) (study) English.</p> <p>③ 私は<u>何を勉強すべきか</u>知っています。 → I know (what) (to) (study) .</p> <p>④ 私は<u>いつ勉強すべきか</u>知りません。 → I don't know (when) (to) (study) .</p> <p>⑤ あなたは<u>どこで勉強すべきか</u>知っています？ → Do you know (where) (to) (study)?</p> <p>⑥ <u>勉強の仕方</u>を私に教えなさい。 → Tell me (how) (to) (study) .</p>	
接続詞	<p>2つの文をつなぐ語を接続詞といいます。</p> <p>ifは「もし～なら」、whenは「～する時」、becauseは「～なので」、thatは「～と」という意味です。</p> <p>thatの前の動詞が過去形だと、後の動詞も過去形になります。</p> <p>接続詞のthatは省略することができます。</p>	<p>① <u>もし</u>明日雨が降る<u>なら</u>、彼女は英語を勉強するでしょう。 → (If) it rains tomorrow, she will study English.</p> <p>② 雨が降る<u>時</u>、彼女は英語を勉強します。 → (When) it rains, she studies English.</p> <p>③ 雨が降った<u>ので</u>、彼女は英語を勉強しました。 → (Because) it rained, she studied English.</p> <p>④ 彼女は英語を勉強する<u>と</u>、私は思います。 → I think (that) she (studies) English.</p> <p>⑤ 彼女は英語を勉強する<u>と</u>、私は思いました。 → I thought (that) she (studied) English.</p> <p>⑥ 彼女は英語を勉強する<u>と</u>、私は思いました。 → I thought she (studied) English.</p>	
感嘆文	<p>How+形容詞/副詞で「なんて～なんだ」という意味です。</p> <p>What+形容詞/副詞+名詞で「なんて～な…なんだ」という意味。</p> <p>後に主語+動詞をつけることもできます。</p> <p>このように驚きを表す文を感嘆文といいます。</p>	<p>① <u>なんて大きいんだ!</u> → (How) (big) !</p> <p>② <u>なんて大きい犬なんだ!</u> → (What) (a) (big) (dog) !</p> <p>③ 彼は<u>なんて背が高いんだ!</u> → (How) (tall) he is!</p> <p>④ 彼は<u>なんて背が高い男の子なんだ!</u> → (What) (a) (tall) (boy) he is!</p> <p>⑤ 彼女は<u>なんて速く走るんだ!</u> → (How) (fast) she runs!</p> <p>⑥ 彼女は<u>なんて速い走者なんだ!</u> → (What) (a) (fast) (runner) she is!</p>	
まとめ	<p>疑問詞は疑問文の前につきます。</p> <p>動名詞と不定詞は、どちらも「～すること」という意味です。</p> <p>不定詞は「～するために」「～するための」「～して」などの意味。</p> <p>It is … +不定詞 で「～することは…です」という意味です。</p> <p>thatの前の動詞が過去形だと、後の動詞も過去形になります。</p> <p>What+形容詞/副詞+名詞で「なんて～な…なんだ」という意味。</p>	<p>① <u>どのように</u>彼女は英語を勉強していますか？ → (How) (is) (she) (studying) English?</p> <p>② 私は英語を<u>勉強すること</u>を終わりました。(正しい方に○) → I finished ( to study / <b>studying</b> ) English.</p> <p>③ 私は英語を<u>勉強するために</u>図書館に行きました。 → I went to the library (to) (study) English.</p> <p>④ 英語を<u>勉強すること</u>は楽しいです。 → It is fun (to) (study) English.</p> <p>⑤ 彼女は英語を勉強する<u>と</u>、私は思いました。 → I thought (that) she (studied) English.</p> <p>⑥ 彼は<u>なんて背が高い男の子なんだ!</u> → (What) (a) (tall) (boy) he is!</p>	

目的語	<p>目的語とは「～に」や「～を」という語句です。  2つ目的語がある場合、<b>誰に</b> <b>何を</b> という順番になります。  <b>何を</b> <b>誰に</b> という順番にする場合、<b>誰に</b> の前に to がつきます。  動詞が「作る」や「買う」の場合、<b>誰に</b> の前に for がつきます。</p>	<p>① 私は<b>英語を</b>教えます。 → I teach <b>(English)</b> .  ② 私は<b>彼女に</b>教えます。 → I teach <b>(her)</b> .  ③ 私は<b>彼女に英語を</b>教えます。 → I teach <b>(her) (English)</b> .  ④ 私は<b>英語を彼女に</b>教えます。 → I teach <b>(English) (to) (her)</b> .  ⑤ 私は<b>彼女に(1冊の)本を</b>買いました。 → I bought <b>(her) (a) (book)</b> .  ⑥ 私は<b>(1冊の)本を彼女に</b>買いました。 → I bought <b>(a) (book) (for) (her)</b> .</p>	
比較	<p>as ~ as で「と同じ位～」という意味です。  ～er で「より～」という意味です。  the ~est で「1番～」という意味です。  6文字以上の長い単語は、er をつけずに、more をつけます。  6文字以上の長い単語は、est をつけずに、the most をつけます。</p>	<p>① 彼は私と<b>同じ位背が高い</b>です。 → He is <b>(as) (tall) (as)</b> I .  ② 彼は私<b>より背が高い</b>です。 → He is <b>(taller) (than)</b> I .  ③ 日本の中で、彼は<b>一番背が高い</b>です。 → He is <b>(the) (tallest)</b> in Japan .  ④ 彼は私と<b>同じ位ゆっくり</b>歩きます。 → He walks <b>(as) (slowly) (as)</b> I .  ⑤ 彼は私<b>よりゆっくり</b>歩きます。 → He walks <b>(more) (slowly) (than)</b> I .  ⑥ 私達全員の中で、彼は<b>一番ゆっくり</b>歩きます。 → He walks <b>(the) (most) (slowly)</b> of us all .</p>	
分詞	<p>動詞の ing 形を現在分詞といい、「～している」という意味です。  動詞の過去分詞形は「～される」という意味です。  現在分詞と過去分詞は、名詞を後ろから説明する役割です。</p>	<p>① ベッキーは英語を<b>勉強している女の子</b>です。 → Becky is a <b>(girl) (studying)</b> English .  ② ケンはピアノを<b>演奏している男の子</b>です。 → Ken is a <b>(boy) (playing)</b> the piano .  ③ ポチは机の下で<b>眠っている犬</b>です。 → Pochi is the <b>(dog) (sleeping)</b> under the desk .  ④ 英語は世界中で<b>話される言語</b>です。 → English is a <b>(language) (spoken)</b> in the world .  ⑤ これは昨日<b>壊された家</b>です。 → This is a <b>(house) (broken)</b> yesterday .  ⑥ これは彼によって<b>書かれた本</b>です。 → This is a <b>(book) (written)</b> by him .</p>	
関係代名詞	<p>名詞と文章をつなぐ役割の語を、関係詞といいます。  who は「その人は」という意味の関係詞で、人につきます。  which や that は「それは」「それを」という意味の関係詞で、物や動物につきます。  which や that は「それを」という意味の時、省略できます。</p>	<p>① ベッキーは<b>英語を話すことができる女の子</b>です。 → Becky is a <b>(girl) (who)</b> can speak English .  ② ケンは<b>ピアノを演奏している男の子</b>です。 → Ken is a <b>(boy) (who)</b> is playing the piano .  ③ ポチは<b>上手に泳ぐことができる犬</b>です。 → Pochi is a <b>(dog) (which/that)</b> can swim well .  ④ これは<b>彼によって書かれた本</b>です。 → This is a <b>(book) (which/that)</b> was written by him .  ⑤ これは<b>昨日私が読んだ本</b>です。 → This is a <b>(book) (which/that)</b> I read yesterday .  ⑥ これは<b>昨日私が読んだ本</b>です。 → This is a <b>(book)</b> I read yesterday .</p>	
否定疑問	<p>疑問文の最初の語を否定形にすると、否定疑問文になります。  Do you speak English? 「あなたは英語を話しますか？」  Don't you speak English? 「あなたは英語を話しませんか？」  どの疑問文も、「する」なら Yes、「しない」なら No です。  否定疑問文の場合、反対の答えにならないよう注意しましょう。</p>	<p>① 彼女は英語を<b>勉強しませんか</b>? → <b>(Doesn't) (she) (study)</b> English?  ② 彼女は英語を<b>勉強しませんでしたか</b>? → <b>(Didn't) (she) (study)</b> English?  ③ 彼女は英語を<b>勉強しないつもりですか</b>? → <b>(Isn't) (she) (going) (to) (study)</b> English?  ④ 彼女は英語を<b>勉強することが出来ませんか</b>? → <b>(Can't) (she) (study)</b> English?  ⑤ (④の疑問文に対して)はい、<b>出来ません</b>。 → <b>(No), (she) (can't)</b> .  ⑥ (④の疑問文に対して)いいえ、<b>出来ます</b>。 → <b>(Yes), (she) (can)</b> .</p>	
付加疑問	<p>文尾に、否定形+主語をつけると「よね」という意味です。  be 動詞の否定形は、isn't, aren't, wasn't, weren't。  助動詞の否定形は、can't, won't, mustn't, couldn't など。  一般動詞の否定形は、don't, doesn't, didn't。</p>	<p>① 彼女は英語を勉強します<b>よね</b>? → She studies English, <b>(doesn't) (she)?</b>  ② 彼女は英語を勉強しました<b>よね</b>? → She studied English, <b>(didn't) (she)?</b>  ③ 彼女は英語を勉強していました<b>よね</b>? → She was studying English, <b>(wasn't) (she)?</b>  ④ 彼女は英語を勉強するつもりです<b>よね</b>? → She is going to study English, <b>(isn't) (she)?</b>  ⑤ 彼女は英語を勉強することが出来ます<b>よね</b>? → She can study English, <b>(can't) (she)?</b>  ⑥ 彼女は英語を勉強することが出来ました<b>よね</b>? → She could study English, <b>(couldn't) (she)?</b></p>	
まとめ	<p>2つ目的語がある場合、<b>誰に</b> <b>何を</b> という順番になります。  ～er で「より～」という意味です。  現在分詞と過去分詞は、名詞を後ろから説明する役割です。  名詞と文章をつなぐ役割の語を、関係詞といいます。  疑問文の最初の語を否定形にすると、否定疑問文になります。  文尾に、否定形+主語をつけると「よね」という意味です。</p>	<p>① 私は<b>彼女に英語を</b>教えます。 → I teach <b>(her) (English)</b> .  ② 彼は私<b>より背が高い</b>です。 → He is <b>(taller) (than)</b> I .  ③ ケンはピアノを<b>演奏している男の子</b>です。 → Ken is a <b>(boy) (playing)</b> the piano .  ④ ケンは<b>ピアノを演奏している男の子</b>です。 → Ken is a <b>(boy) (who)</b> is playing the piano .  ⑤ 彼女は英語を<b>勉強しませんか</b>? → <b>(Doesn't) (she) (study)</b> English?  ⑥ 彼女は英語を勉強します<b>よね</b>? → She studies English, <b>(doesn't) (she)?</b></p>	